

5. 「企業市民活動推進センター」事業

— コンサルテーション、社員のV体験、NPOとのコーディネーション

「企業市民活動推進センター」(Center for Corporate Citizenship, CCC)は、日本生命財団の助成を受けて、1991年に開設。以来、「企業市民」活動（いわゆる、企業の社会貢献活動、CSR活動）の専門推進機関として活動している。

主な機能は、①CSRを含む「企業市民」活動全般のコンサルタントと研究会の開催、②社員・OB等の市民活動支援のための総合的支援・プログラム提供、③NPOと企業(人)のパートナーシップ作りのためのコーディネート、④社会的責任に関するNPO/NGOからの発信を柱に事業を進めている。

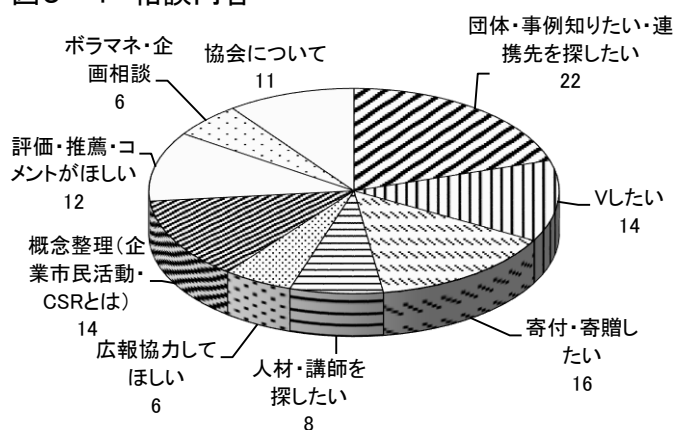
1. コンサルテーション事業

企業市民活動推進センターは、社員に自己実現の機会を提供し、NPOを通じて地域社会を活性化させ、企業市民活動に熱心な企業への社員や地域社会（顧客）の共感を高めるコーディネート機関・ファシリテート機関として、以下のようなニーズにそれぞれ応えている。

（1）企業市民活動推進センターへの相談対応

2013 年度にセンターが受けた相談内容を図5-1で示す。相談件数は109件（12年度115件）であった。そのうち93件（同92件）が企業や労働組合からの相談で、全体の85.3%を占める。相談内容は、大きく三分され、一つは企業等が社会貢献やCSR活動を推進するうえでのコーディネーション（つなぐ）相談（計66件=60.5%）、次に企画・コンサルティング相談（計32件=29.4%）、そして協会事業への問合せ（11件=10.1%）である。このうち、コーディネーション相談の主な例は、「社員有志でボランティア活動をしたいので活動先を紹介してほしい」「創立〇周年を記念して、NPOに寄付をしたい」といった内容で、相談者がつながりたい相手をコーディネーターが探し、提案している。企画・コンサルティング相談の主な例は、「構想中の事業案に助言がほしい」「事業企画の相談にのってほしい」等である。

図5-1 相談内容



相談内容（相談者の主訴）例	対応プロセスと結果
社員に呼びかけて、単発参加できる活動先を探している。	クリーン活動と本の整理ボランティアの活動先をつなぐ。
関西でできる東北支援活動を探している。	復興商品はソーシャルプロダクツの一つ。「買う」ことが復興支援につながる、と提案。

（2）企業市民活動推進のコンサルティングと企画づくりの支援

企業市民活動推進センターは、企業の社会貢献プログラムの企画助言や事務局受託、専門員派遣なども行っている。社員向けボランティア講座受託の他、13年度に実施したコンサルティング事業は、以下のものがある。

項目	概要
積水ハウス「マッチングプログラム」の助成事務局および「アドバイザー」就任	市民活動団体への助成プログラムの協働事務局を受託。アドバイザーに水谷事務局長が就任、選考作業が行われる理事会へ派遣。プログラム助成（助成金額50万円～190万円）に19件（こども11件、環境8件）、基盤助成（上限20万円）に8件（こども4件、環境4件）に助成。
阪急阪神ホールディングスの「未来のゆめ・まち基金」助成事務局の受託	阪急阪神ホールディングスが09年度から開始した「未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムの助成事務局を受託。全体設計や選定事務に協力した。15団体（地域環境6件、次世代育成9件）に総額680万円を助成。
各企業のCSR活動の助言と報告書へのコメント掲載	企業が発行する「CSR報告書」制作の際に、記述に関する助言やコメント掲載に協力した。 ※協力した企業：大阪ガス(株)

2. 教育・研修・研究事業

（1）社員向けボランティア講座の受託開催

2013 年度にセンターが企画・進行全般の委託を受けた講座件数はのべ6件（12年度7件）。なお、13年度は、企業や労働組合から講師派遣だけを依頼された案件はなかった（同3件）。

プログラム数	参加人数	依頼企業
6	130	キリングroup労働組合協議会 ／小野薬品工業(株)労働組合

（2）「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム（PCLF）」の開催

1993年に企業の社会貢献担当者を対象に、第1回のフィランソロピー・リンクアップフォーラムを開催して以来、隔月で開催を続け、2013年度で20周年を迎えた。その記念フォーラムは2月の定例フォーラムと兼ねて行い、退職などで退任されたOBの方もお招きし、フォーラム20年のあゆみと未来への期待を大いに語らった。

13年度の会員企業・団体数は40社（顧問及び当協会を含む。12年度41社）。のべ参加者数は294人（協会および講師を含む。前年度は322人）であった。定例フォーラムは偶数月に開催し、開催分の内容は以下のとおりである。

＜2013年度会員企業・団体＞

【幹事企業（6）】大阪ガス(株)、関西電力(株)、(株)関西マガジンセンター、シャープ(株)、住友生命保険(相)、積水ハウス(株)

【新規加入企業（4）】SCSK(株)、関西テレビ放送(株)、(公財)ひょうごコミュニティ財団、(株)マンダム】

伊藤ハム(株)、(株)インサイト、エイチ・ツー・オー リテイリング(株)、(株)NTTデータ関西、

(社福)大阪市社会福祉協議会、大阪商工信用金庫、(社福)大阪府社会福祉協議会、オムロン(株)、(株)カネカ、

(特活)関西NGO協議会、近畿労働金庫、(株)神戸製鋼所、(株)シータス&ゼネラルプレス、

(特活)ジャパン・プラットフォーム、積水化成品工業(株)、ダイキン工業(株)、大同生命保険(株)、(株)高島屋、

田辺三菱製薬(株)、(特活)トゥギャザー、西日本高速道路(株)、西日本旅客鉄道(株)、日東電工(株)、(特活)日本NPOセンター、

日本テクノロジーソリューション(株)、パナソニック(株)、阪急阪神ホールディングス(株)、(株)日立製作所 関西支社、

(社福)兵庫県社会福祉協議会ひょうごボランティアプラザ、三菱商事(株)関西支社

※2012年度末で退会したのは、(特活)市民活動センター神戸、三井住友海上火災保険(株)、富士ゼロックス(株)。

① 定例フォーラム

- ・第31回（2013年4月9日、会場：チャイルド・ケモ・ハウス）参加者：51人（25社・団体）
テーマ：フィールドワーク～チャイルド・ケモ・ハウス見学と医療施設支援について
発題者：田村太郎（公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金）
- ・第32回（2013年6月20日、会場：かんでんエルハート）参加者：49人（18社・団体）
テーマ：フィールドワーク～かんでんエルハート見学と障害者の就労、雇用の現状について
発題者：上月正洋（特定非営利活動法人トゥギャザー）吉川恭充（かんでんエルハート）
- ・第33回（2013年8月6日、会場：CANVAS谷町）参加者：39人（19社・団体）
テーマ：性的マイノリティとともに働く 企業価値を高める職場づくりのために
発題者：村木真紀（虹色ダイバーシティ）
- ・第34回（2013年10月8日、会場：住友生命保険相互会社 本社）参加者：48人（24社・団体）
テーマ：G4ガイドラインでCSRレポートは何が変わるのか？
発題者：富田秀実（LRQAジャパン）
- ・第35回（2013年12月10日、会場：大阪ガス株式会社 本社）参加者：46人（22社・団体）
テーマ：その表示、大丈夫？『グリーンウォッシュ』は経営リスク
～環境コミュニケーション力を高めるために
発題者：杵本育生・下村委津子（特定非営利活動法人環境市民）
- ・第36回（2014年2月19日、会場：大阪ガス株式会社 本社）
参加者：61人（30社・団体）
テーマ：企業の社会貢献・CSR推進における不易流行とは
～リンクアップフォーラム20年のあゆみと未来への期待
発題者：長沢恵美子（一般社団法人経団連事業サービス）、早瀬昇（社会福祉法人大阪ボランティア協会）、新美佳代（阪急阪神ホールディングス株式会社）、広瀬雄樹（積水ハウス株式会社）



対談中の早瀬さん(左)と長沢さん(右)

② フォーラム自主ゼミ「リンクアップ・ジュニア」

リンクアップフォーラム会員企業の「若手」担当者の自主勉強会。参加団体は15社で参加者数22人（昨年同期12社、22人）。のべ参加者数は35人（主担当およびオブザーバー、協会含む）。

- ・第66回（2013年5月9日）「大阪商工信金社会福祉賞 表彰式」 参加者：12人（11社・団体）
- ・第67回（2013年9月19日）「ダイアログ・イン・ザ・ダークのお話と体験」 参加者：10人（7社・団体）
- ・第68回（2013年10月2日）「いずみホール夢コンサート」 参加者：6人（6社・団体）
- ・第69回（2013年11月14日）「AMD Aネパールこども病院報告会」 参加者：5人（4社・団体）
- ・第70回（2013年12月4日）「近畿ろうきんNPOアワードシンポジウム」 参加者：2人（2社・団体）

（3）「CSR・社会貢献基礎研修2013」の開催【新規】

関西でのCSR・社会貢献の取り組みに関心のある方や社会的取り組みに関心のある方向けに、少人数&講義・ワーク型の研修をリンクアップフォーラム会員メンバー有志により企画し、4回の連続型で開催した。のべ参加者：134人。

新しい団体、個人の参加も獲得でき、リンクアップフォーラムとは違った議論と組織化が図れた。講師陣もCCC事業関係者を巻き込み、有料のセミナーとしての成功モデルとすることができた。

- ・1日目（2013年7月1日（月）、会場：CANVAS谷町）
 - ①13時30分～16時 参加者：12人
講師：金田晃一（武田薬品工業株）、原田京子（株シータス&ゼネラルプレス）
テーマ：「そもそも、企業の社会的責任とは？～実践から、そして、社会の動向から」
 - ②16時15分～17時30分 参加者：10人
講師：井上小太郎（企業市民活動推進センター運営委員長、元・住友生命保険相互会社）
テーマ：「社内での社会貢献推進態勢のつくり方」
- ・2日目（2013年7月20日（月）、会場：大阪ガス株 エネルギー・文化研究所 都市魅力研究室）
 - ③13時～14時45分 参加者：15人
講師：江本雅朗（大阪ガス株）、川口加奈（(特活)Homedoor）
テーマ：企業とNPOの素敵な協働～企業の本音 NPOのホンネ
 - ④15時～16時 参加者：14人 講師：早瀬昇（(福)大阪ボランティア協会）
テーマ：ボランティアの本質論～企業ボランティアの推進で押さえること
 - ⑤16時15分～18時 参加者：14人
講師：山口大輔・東郷琴子・宮澤佳代（パナソニック株）
テーマ：社員ボランティアのあり方と社内への浸透方法
- ・3日目（2013年8月20日（火）、会場：ミンナDEカオウヤ（梅田スカイビル））
 - ⑥13時～14時45分 参加者：11人
講師：水谷綾（(福)大阪ボランティア協会）、外間孝次（株阪急阪神百貨店）
テーマ：社内ファンドレイジングのあれこれ
 - ⑦15時～16時15分 参加者：12人
講師：松尾浩樹（(福)大阪市社会福祉協議会大阪市ボランティア・市民活動センター）
テーマ：地域福祉課題に向き合う～CSRと地域の関係
 - ⑧16時30分～18時 参加者：12人 講師：広瀬雄樹（積水ハウス株）
テーマ：災害発生時、CSR・社会貢献担当部門はどう動いたか
- ・4日目（2013年9月12日（木）、会場：CANVAS谷町）
 - ⑨13時～14時30分 参加者：12人 講師：富野岳史（(特活)国際協力NGOセンター）
テーマ：国際協力から見えるコミュニティ支援～独りよがりな支援にならないために
 - ⑩14時45分～15時45分 参加者：11人
講師：永井美佳（(福)大阪ボランティア協会） テーマ：中間支援組織とのつきあい方
 - ⑪16時～18時 参加者：11人（講師：水谷綾（(福)大阪ボランティア協会）
テーマ：自社のCSR・社会貢献プランを考えるワークショップ

（4）CRM（コーズリレーティッドマーケティング）研究会の開催

CRM＝商品を購入することでNPOの活動などに寄付するマーケティング手法について研究を進めることで、CCCの新たなコンサル分野の開拓（収益源）につなげる。メンバーはCCC運営委員を中心に10人で構成。今年度は情報誌『ウォロ』に研究成果を連載（全6回）。CRM研究の第一人者、世良耕一さん（東京電機大学教授）を招き、学習会を開

催し、研鑽を深める機会とした。なお、そのときの様子はウォロでの第4・5回連載で紹介。その後、日本NPO学会でのパネル発表にもつなげた。

① ウォロでの連載《CRM入門講座～NPOと企業と消費者の新しい協働のカタチ》

- 2013年6月号 第1回 事例から考えるCRM①資生堂・コクミンの「With0311」2年目の取り組み
 2013年7・8月号 第2回 事例から考えるCRM②武田薬品工業と日本NPOセンターの「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」
 2013年9月号 第3回 NPO活動の基盤拡大の可能性を秘めるCRM
 2014年1月号 第4回 CRMに関する誤解を解く
 2014年2月号 第5回 「偽善」と思われたいCRMとするには
 2014年3月号 第6回 消費者の「共感」を得るとのこと

② 学習会の開催《CRM研究会～世良耕一さん（東京電機大学教授）をお招きして》

- 日時：2013年10月31日（木）18時30分～21時
 会場：梅田スカイビル（積水ハウス会議室） 参加15人

③ 学会発表《第16回日本NPO学会のパネル発表》

- CRMに企業とNPO/NGOの新しい協働の可能性を探る～NPOと企業と消費者の新しい協働のカタチ～
 日時：2014年3月15日（土） 会場：関西大学千里山キャンパス
 パネラーおよびモデレーター：世良耕一（東京電機大学工学部）、楠正吉（積水ハウス㈱、CCC運営委員、CRM研究会座長）、橋本勲（Glass代表、CRM研究会）、井上小太郎（モデレーター、CCC運営委員長、CRM研究会）

（5）「うめきたソーシャル朝活プロジェクト」ネットワーキングづくりの創出【新規】

2013年4月にオープンした「グランフロント大阪」。梅田周辺で働く人々がその生活圏である地で、新しい社会貢献・地域貢献を創り上げるための交流の場づくりとして“うめきたソーシャル朝活”を開始。積水ハウス、大阪ガス、パナソニックなどの協力を得て、緩やかなネットワーク体で企画を実施。当協会は、当ネットワークの事務局を担っている（企画連携：大阪を変える100人会議、会場提供：大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所 都市魅力研究室）。



ソーシャル“朝活”の様子

- ・第1回目：2013年8月29日（木） 参加者：43人
 講師：金井真介（ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン）
 テーマ：ソーシャルエンターテイメントとして話題の「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」が大阪に登場したわけ
- ・第2回目：2013年9月29日（木） 参加者：29人 講師：高井啓太郎（(特活)のあつく自然学校）
 テーマ：「自然体験活動の必要性」～私たちのコミュニケーション不足はココから始まった！
- ・第3回目：2013年10月24日（木） 参加者：18人 講師：水谷綾（(福)大阪ボランティア協会）
 テーマ：「うめきたDE ソーシャル朝活、の極意」私たちのコミュニケーションを深め、さらに広げよう
- ・第4回目：2013年11月28日（木） 参加者：34人 講師：林真理（愛 deer 料理教室）
 テーマ：国産シカ肉で社会貢献！？
- ・第5回目：2013年12月26日（木） 参加者：20人 講師：高津玉枝（㈱福市）
 テーマ：お買い物でできる身近な社会貢献「フェアトレード」
- ・第6回目：2014年1月26日（木） 参加者：24人 講師：桐村一平（㈱NOBORDER）
 テーマ：生活習慣病を減少させて美しい社会へ
- ・第7回目：2014年2月23日（木） 参加者：24人 講師：中川暢三（大阪市北区長） テーマ：「中川区長による北区の防災への取組み」～うめきた地区の行政・市民・企業人による防災ワークショップ&意見交流会～
- ・第8回目：2014年3月27日（木） 参加者：18人 講師：浅井美和子（参天製薬㈱） テーマ：サードプレイス研究 あなたの第三の場所とは？～仕事でも遊びでもない自分らしいボランティア；プロボノの場合～

3. 社会的責任(SR)に関するNPO/NGOからの発信

（1）「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」の組織化と参画

「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」（NNネット）に会員として連携を継続。当協会からは水谷が関わっている。